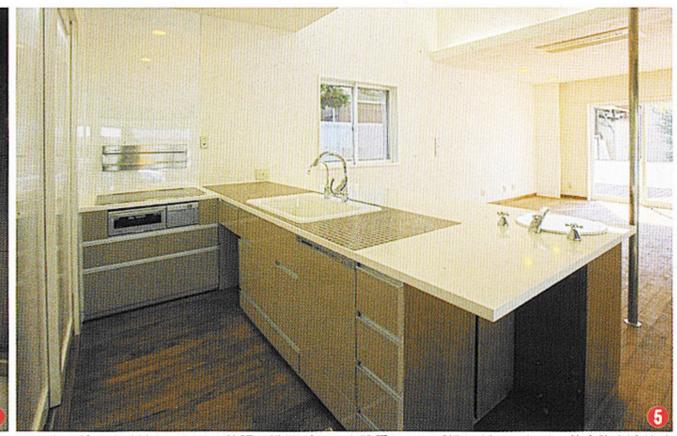


電動のオーバースライダー・センサー付スポットライト・塗床・大容量の排気ダクトなど、かつ
広いだけでなく機能も充実したガレージ



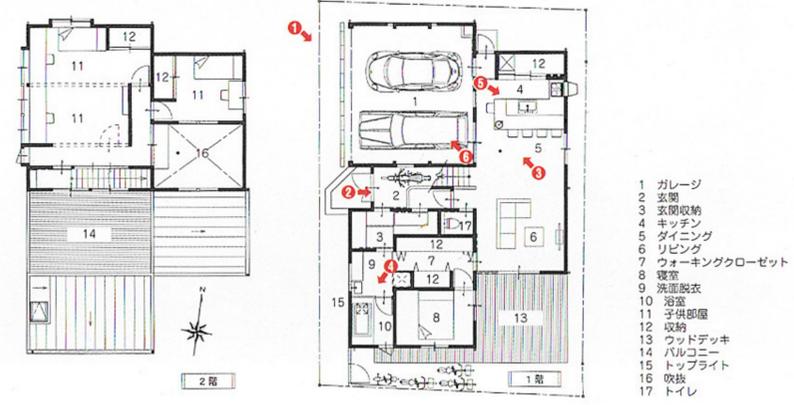
フルオーダーメイドキッチン。片隅に洗面ボールを設置して、手洗いだけでなく、飲食物を冷やす
ために使用



ガレージのオーバースライダーが印象的。プライバシーが確保された真っ白い外観

❖ DATA ❖

敷地面積：184.65㎡ (55.85坪) / 延床面積：156.11㎡ (47.22坪)
1階：107.97㎡ (32.66坪) / 2階：48.14㎡ (14.56坪)
用途地域：第1種中高層住居専用地域
建ぺい率：59.45% / 容積率：67.64% / 構造：木造
竣工年：2007年
設計・監理：一級建築士事務所 堺武治建築事務所
〒861-4101 熊本市近見2丁目13-29
TEL：096-353-0805 / FAX：096-353-0809
ホームページ：http://www2.ocn.ne.jp/~ts-arc/
E-mail：ts-arc@themis.ocn.ne.jp
施工：株式会社 岩永組



建築家紹介コーナー

家づくりへのアドバイス
まずは、自分がどんな生活をしたいのかをじっくりと考えてみてください。はつきりとしたものではなくても、ぼんやりとしたライフスタイルを建築家につけてみて、その夢を叶えてくれるような人と共に家づくりを進められることをお勧めします。すぐには見つからないと思います。が、先ずは建築家というパートナーを探されることをお勧めします。



堺 武治
Sakai Takeharu
1968年 熊本市生まれ
1993年 有限会社 SDA 建築設計事務所 務所入所
1999年 堺武治建築事務所設立

住宅設計で大切にしていること
住宅というのは、「人を幸せにする場」であってほしいと思っています。だから、設計している家にご家族が暮らし始めて、幸せになれるかどうかを常に考えています。そのためには家族のライフスタイルを形にすること（建築主の想い・こだわり・好みを理解して、住む人の夢を現実化すること）が私の仕事だと思っています。

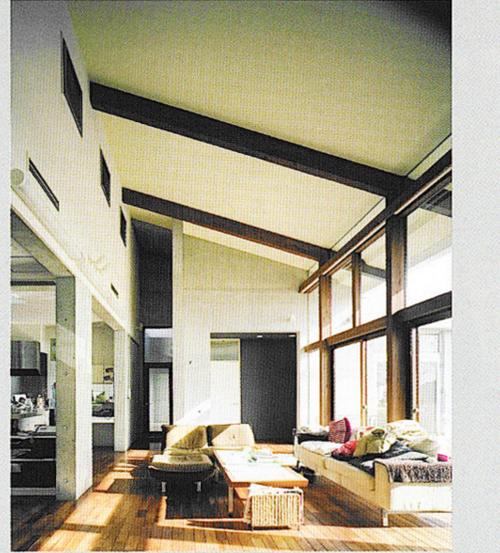
コミュニケーションを大切にします
住宅をつくる過程で大切にしていることは、建築主とのコミュニケーションです。設計に始まり、工事監理を経て完成まで長い時間がかかります。その間、建築主が思っていることや考えていることと私たち設計者が考えていることとを極力埋めるために幾度となく打合せを重ねます。過去に設計した建物を見に行ったり、住設機器メーカーのショールームを訪れたり、時にはお酒を交わしたりして建築主の想いを引き出す努力をします。また完成後も、メン



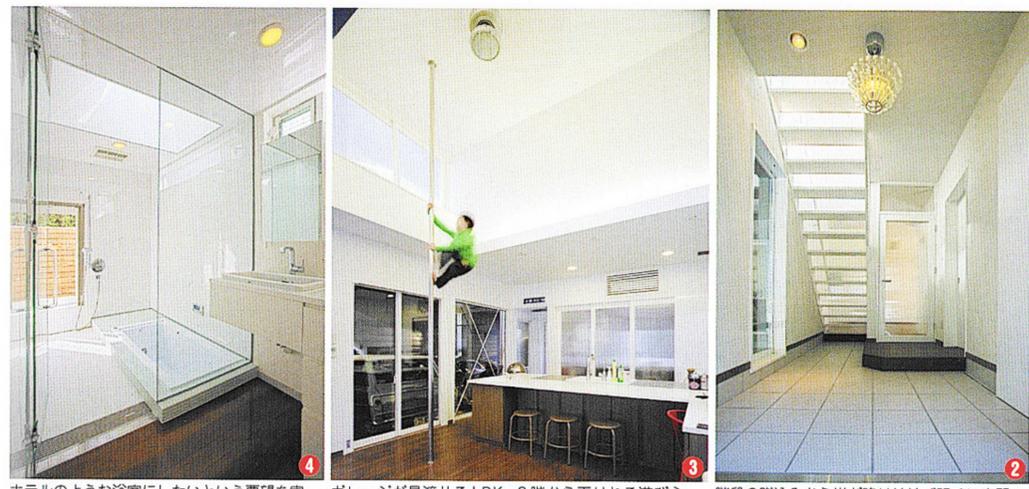
小川町の家 外観は閉鎖的、内部は開放的な住宅



京町の家 住宅密集地に建つ狭小
住宅
中原町の家 外観は閉鎖的であるが、
中庭へ向かって開いた住宅



迎水町の家 光あふれる開放的なリビング



ホテルのような浴室にしたいという要望を実現したガラス張りの浴室
ガレージが見渡せるLDK。2階から下りられる遊び心のボール
階段の蹴込みから光が降りそそぐ明るい玄関

Mさんの家
熊本市
設計：堺 武治
家族構成：夫婦 + 子ども
3人 (すべて男の子)

建築主から、建築家に要望した点
車好きの私は、愛着のある車と常に一緒にいたいという願いから、ガレージと住居が一体となった家を熱望しました。妻は生活に重点をおき、すべて1階で生活ができること、元気のいい子どもたちの出す音が他の空間に影響を与えないこと、プライバシーが保たれていることなど、数点の要望を出しました。度重なるプラン検討の結果、私たちの生活スタイルに合う家を実現しました。根気強く、極め細やかに付き合っていた建築家の堺さんには、大変感謝しています。プライバシーが確保されつつも、室内は明るく、風も抜けて、断熱もしっかりしているこの家は、私たち家族にとってお気に入りの住まいです。

建築家が工夫した点
この住宅は「Garage House」という名の通り、ガレージと家が一体となった住宅です。毎日愛車を見て感じながら生活ができるように、ガレージとLDKや玄関が密接に関係するプランとしています。また、プライバシーの確保と西日の遮断を考慮し、道路側は閉鎖的な外観としています。内部空間は、透明感のある素材を多用して光や視線の広がりを感じたり、また空間をつなげて家族の気配を感じられるようにしています。毎日愛車と密接に触れ合え、楽しい仕掛けがいっぱいのこの住宅で、家族が幸せになることを願っています。